

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 10 日

事業所名 あしあと・ぷらいむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	適切なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	人員配置基準を順守しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	バリアフリー構造となっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	日々の清掃及び消毒を実施しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	月に1度の職員会議の実施しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケートでの指摘やご意見を職員全体で共有し、業務の改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	アンケート結果をHPで公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	公認会計士による第三者評価を実施しています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	年に3回社内研修の実地 その他、外部研修の参加。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	作成時に保護者様と面談を行い、ニーズや課題が反映されるように努めています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	事業所独自で作成したアセスメントシートを活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	発達年齢、現状の課題や今後の成長を保護者様と面談でお話させていただき、必要な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	常にカンファレンスを行い支援計画の内容を職員と共有しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	全職員で検討を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	活動支援アプリなどを活用しプログラムが固定化しないようにしています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	作成しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎朝全職員でミーティングを実施して支援内容の確認をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	全送迎終了後、全職員で振り返りを行い情報の共有をしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	業務日誌や、個人の記録をつけ、職員間で支援の情報共有を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。6か月未満でも、必要に応じて計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者兼児童発達支援責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	相談員や保護者との情報共有に加えて関係機関とも連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	現在、該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	現在、該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	こども園等への移行の際には保護者様の承諾を取り、情報共有を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	移行の際には保護者様の承諾を取り、情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	保護者様の承諾を取り、情報共有を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		コロナウイルス感染症の感染予防の観点より、現時点では外部との関わる機会を設けてはいない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	現在、自立支援協議会(子どもむすぶ会の部会長)をしています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時に子どもの様子をお伝えし、情報共有を行っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0%	100%		外部機関のペアレントトレーニング等の案内を掲示していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	見学、体験時や契約の際に書面を用いて説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	ガイドラインに基づき支援計画の内容を説明させていただき、同意を得たうえで、署名と捺印をもらっています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	定期的にご家族様と面談を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		コロナウイルス感染症の感染予防の観点より、現時点では外部との関わる機会を設けてはいない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情があった場合には早期に対応できるように迅速に対応できるように体制を整えています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に1度の通信をご家族様に発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	全ての書類に関して、事務所内の鍵付き書庫で保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡ノートの活用、電話や面談にて行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナウイルス感染症の感染予防の観点より、現時点では外部との関わる機会を設けてはいない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	すべてのマニュアルを策定し職員への周知及び訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回社内研修の実地その他、外部研修の参加。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	常にアセスメントじに確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	事前のアセスメントで、アレルギーに関する確認を行い医師の指示書にしたがっている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	常にヒヤリハットの内容を職員間で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に虐待防止研修の参加及び事業内で研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	現在、身体拘束を行うようなお子さまはいないのですが、今後必要な場合は個別支援計画に記載してご家族様の同意いただくようにしていきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。